

つながるまちづくりイベント

子育てしたいまち

× 私のしたいこと

【日 時】令和6年12月8日（日）
13時30分～16時00分

【プログラム】

- ・講演
 - まち全体での子ども居場所づくりに係る取組-
NPO法人ハートフルポート代表理事 五味真紀様
 - 子育てを応援する移動サービスに係る取組-
hab株式会社 代表取締役兼CEO 豊田洋平様
- ・つながるタイム（参加型交流プログラム）
 - 前半：講演者×参加者のクロストーク
 - 後半：参加者同士のグループディスカッション

多様な主体をつなげるまちづくりの取組の一環として「子育てしたいまち×私のしたいこと」をテーマにイベントを開催しました。

企業・事業者やNPO・まちづくりグループ、学生等、様々な団体から約30名が参加し、お互いの活動を紹介・意見交換を通して多様な主体の交流の場となりました。

参加者のしたいこと・・・

- * 居場所づくり（多世代、親子、こども、地域、インクルーシブ、等）
- * 放課後キッズクラブの活動拡大
- * 遊び場づくり、学び場づくり
- * 仲間づくり など



● 講演

「子育てしたいまち・私の場合」をテーマに、お二方にご講演いただきました。

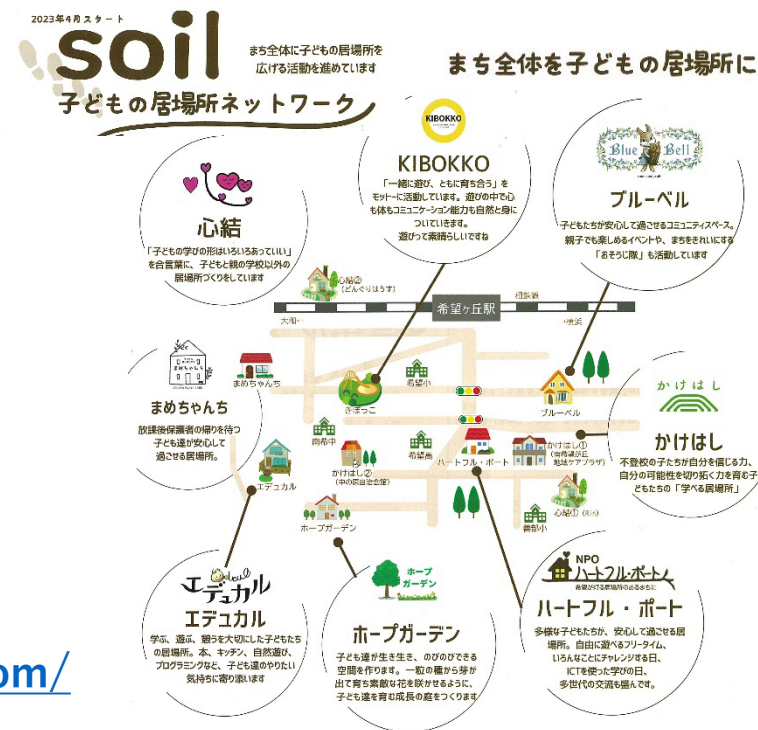


五味 真紀さん
NPO法人ハートフル・ポート
代表理事

旭区希望が丘の自宅の1階で「住み開きcafeハートフルポート」を運営する五味さんから、多様な子どもたちが行ける居場所のネットワークづくりの取組である「soil ～子どもの居場所ネットワーク事業～」について、ご紹介をいただきました。

soilとは、子どもたちがまちで育つ土壌づくりの意味であり、同じエリアに点在している、居場所を運営する団体同士をネットワーク化してまち全体を子どもの居場所にしていくことを目標としています。活動が始まったきっかけ、連携の仕組みや活動の様子などをお話しいただきました。

NPO法人ハートフルポートHP : <https://np-hfport.blogspot.com/>



豊田 洋平さん
hab株式会社
代表取締役兼CEO

hab株式会社では、子どもの送迎問題により保護者の就労機会をあきらめたり、子どもの教育機会をあきらめるといった社会課題の解決のため、「こども専用の相乗りタクシー送迎サービス」を開発しています。また、幹事企業を務める「こどものみらい共創プラットフォーム」では、コンソーシアムとして官民が連携した多様なメンバーが社会課題の解決を目指しています。

豊田さんから、アイデアをカタチにするために、「動機をことばにしてからすぐに行動・発信して振り返る」サイクルを繰り返したとの実際のご経験をもとにお話しいただきました。

hab株式会社HP : <https://habshuttle.com/>



■ 「こども送迎サービス」実証実験

● つながるタイム（参加型交流プログラム）

つながるタイムの前半は、講演者と参加者のクロストークを行いました。後半は登壇者と参加者に行政職員も交え、「子育てしたいまち」に関するお互いの活動ややりたいことについて、関心を持ったこと、つなぐれそうなことについて、グループディスカッションを行いました。

クロストークやグループディスカッションから、活動の継続・発展につながる気づきを共有することができました。

●情報発信について

情報発信の重要性と、口コミ、自治会・子ども会を通じた情報提供等、小さくても様々なアプローチにより認知度が広がること

●マーケティング

当事者への継続したヒアリングによる事業・活動の見直しなど、まちづくりにおけるマーケティングの重要性

●つながりのつくり方・巻き込み方

つながりやネットワークづくりにおける活動の広がりや効果とその価値、様々な主体を巻き込みながら活動を進める上での難しさやコツ

●営利と非営利

企業もNPOも抱えている課題は共通していること、非営利活動であっても営利の部分が活動の継続には必要不可欠であること



コーディネーターから一言！

五味さんの、エリアの中で小さな活動をつないでネットワークを紡いでいく手法に、新しい市民活動の可能性を実感しました。

また、豊田さんの地域課題の解決に向けた事業化へのモチベーションの高さに、イベントに参加した市民活動者たちが出会えたことや、反対に、豊田さんのような起業家と五味さんのようなボランティアにより地域活動を考える方々との出会いから、相互作用が生まれ、参加者にとって、新たなつながりや展開のきっかけになったと思います。

このような取組が今後も市内各地で拡がり、創発の機会が多様に行われることを期待します。



認定NPO法人
市民セクターよこはま
理事長 鈴木智香子さん